

宮城県佐沼高等学校出前授業

当協会とみやぎデジタルアカデミー推進懇談会は、社会の第一線で活躍する技術者や経営者を講師とし、産業界の技術者だからできることへの強いこだわりや、考える仕事のやりがいや楽しさを生徒に伝える出前授業を実施しました。また、授業は理数系の教科を学ぶ意義を実社会に照らしながら学ぶことができるよう工夫を加え、単なる講話や理科実験ではなく、理数系の学習や職業観の醸成に切り込んだ内容となっている点が特長です。

- 1 日時 平成24年5月30日（水） 14:45～15:45
- 2 会場 宮城県佐沼高等学校（宮城県登米市迫町佐沼字末広1番地）
- 3 対象 2年生 236名
- 4 授業内容

（1）理系クラス1 「ソフトウェア技術者と数学」

講師 株式会社 PRO&BSC ファストエンジニアリング事業部 樋口 祐紀 氏

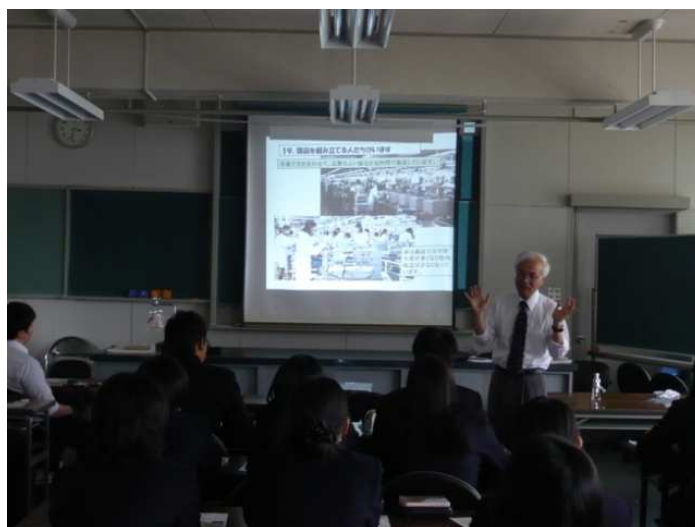
一次関数を活用したアニメーションやゲームソフトウェアを用いながら、数学的な論理思考を視覚的に学ぶ内容です。社会やソフトウェア開発において、数学がどのように活用されているのかを事例を交えながら解説することで、授業の大切さ自発的な学習を促す内容です。



（2）理系クラス2 「ものづくりという仕事、「観察」から新しい発見と感動を」

講師 東北リコー株式会社 画像システム事業本部 技師長 佐藤 光雄 氏

技術者の仕事と科学の世界との関係、工業製品がどのように設計され製造されるのかなどを中心に、実際の部品や手実験も含めてわかりやすく解説します。特に「観察する」ことで新しい発見を生み、そこから得られる喜びや感動を伝えることで、科学技術への興味を引き出す内容です。



(3) 理系クラス3 「システムエンジニアの仕事とオープンソース」

講師 株式会社 SRA東北 ソリューション事業部システムグループ 大森 浩 氏

ITやインターネットの歴史を通じて、ITが社会生活における基盤となっている事を解説します。その中で、システムエンジニアがどのような仕事でどのような役割を担っているか、自身のキャリアをベースに説明します。特にオープンソースソフトウェアに関して、その特長や社会における利用方法、オープンソースソフトウェアに関わることによって得られる喜びや、やりがいなど、仕事を通じて社会と関わることの意義を伝える内容です。



(4) 文系クラス 「デジタル画像のしくみ ～数学との意外な関係～」

講師 イートス株式会社 取締役 システム開発部 開発グループ 金村 昌秀 氏

デジタル画像を題材に、基礎的知識から顔認識技術にわたるまで、数学がどのようなかたちで活用されているかを紹介することで、数学を学習することの重要性を理解し、将来社会で活躍するために必要となるスキルや素養を意識させる内容です。



5 実施主体

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

みやぎデジタルアカデミー推進懇談会（宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、（一社）宮城県情報サービス産業協会、（社）みやぎ工業会、東北学院大学工学部、宮城県、仙台市、（株）仙台ソフトウェアセンター）

●みやぎデジタルアカデミー推進懇談会について

みやぎデジタルアカデミー推進懇談会は、平成20年度から取り組んできた経済産業省早期工学人材育成事業「みやぎデジタルアカデミー」～産学官コンソーシアムによる早期工学人材育成モデル～の成果を継承し、宮城県における経済のグローバル化に対応できる高度な工学人材の育成と定着に向け、県内の中学校及び高等学校（普通科）における民間企業等からの出講について幅広い視点から意見交換等を行い、産学官連携による普及と推進を図ることを目的としています。

みやぎデジタルアカデミーWebサイト：http://www.navis.co.jp/kikaku_produce/digiaca/index.html